

令和 6 年度
東京ロータリークラブ チャレンジ 110

みんないきいきプロジェクト
事業報告



ご 挨 拶

NPO 法人ジョブコーチ・ネットワーク理事長 小川浩

少子高齢化が進み、労働人口の減少が深刻化する中、法定雇用率は段階的に引き上げられ、障害者の雇用促進は企業にとっても重要な課題となっています。一方、障害者雇用は単にコンプライアンスという観点にとどまらず、多様な人々が相互に認め合い支え合う「共生社会」の実現という本質的な社会的意義も包含しています。障害のある方々が、生産性の求められる企業現場で、いきいきと自らの役割と誇りをもって働くためには、それぞれの企業の実情に即した支援と、それを実行できる支援人材の育成が不可欠です。NPO 法人ジョブコーチ・ネットワーク（以下、JC-NET）は、誰もが自分らしく働くことができる共生社会の実現を目指し、ジョブコーチの育成と支援の質向上に取り組んでまいりました。

その取り組みに対して、東京ロータリークラブの皆様には、「チャレンジ 110 みんないきいきプロジェクト」を通じて、継続的かつ多角的なご支援をいただいておりますこと、改めて深く感謝申し上げます。お陰様で令和 6 年度も、障害のある方々の余暇活動と社会参加の促進を目的とした T ボール交流大会の開催、ジョブコーチを志す学生への奨学金の支給、企業内ジョブコーチの学びと交流の場の提供、さらには国際的なジョブコーチ育成への協力など、幅広い活動を展開することができました。

とりわけ、ジョブコーチの道を志す学生への奨学金支給は、次世代を担う支援者の背中を力強く押すものとなりました。大妻女子大学のジョブコーチ養成課程を修了した 8 名の学生全員が、社会福祉士または精神保健福祉士国家試験に合格し、職場適応援助者養成研修も無事に修了することができました。そして全員が特例子会社や社会福祉法人、医療機関などで就労支援の実務に就き、すでに現場での一歩を踏み出しています。学生たちからは、「東京ロータリークラブの支援が大きな励みになった」「学ぶ環境を得られたことで視野が広がった」などの声が寄せられております。本報告書ではそれらをご紹介しますので、お目通し頂ければ幸いです。

また、令和 6 年度は、企業に所属する現役ジョブコーチの実践力を高め、ネットワーク形成を図るための「企業内ジョブコーチ交流セミナー」を昨年度より 1 回多く 3 回開催し、多数の企業からご参加をいただきました。ASD の障害特性や過剰適応、障害者就労支援士創設に関わる動向、大学と企業の連携など、特色ある学びと対話が行われ、のべ 300 名を超える対面・オンライン参加を得ることが出来ました。とりわけ「障害のある大学生と企業とのマッチング」をテーマにした第 6 回セミナーには、障害者雇用の先進企業、大学、支援機関など多様な立場の方が集い、障害者雇用の新たな可能性について活発な議論が交わされました。

このように、東京ロータリークラブの助成を受けた取り組みは、次世代支援人材の育成と、すでに現場で奮闘するジョブコーチたちの専門性向上という、両輪の推進力となっております。今後も JC-NET は、変化する社会の中で現場の声に耳を傾けながら、実践に根ざした育成と、相互の学び合いの場づくりに努めてまいります。改めまして、東京ロータリークラブの皆様の温かいご支援に深く感謝申し上げ、令和 6 年度の事業報告にあたってのご挨拶とさせていただきます。

1. 働く障害者のTボール交流大会の開催

<事業計画>

特例子会社で働く障害のある人のための余暇活動イベントとして、高等教育機関でジョブコーチを学ぶ学生有志が実行委員会を形成し、Tボール交流大会を開催する。

<実施報告>

大妻女子大学多摩キャンパスにおいて、令和6年10月19日（土）9：00～16：00、働く障害者のスポーツイベントとしてTボール交流大会を開催した。大妻女子大学のジョブコーチ養成課程の学生8人が実行委員となり、人間関係学部の学生ボランティアを募り、学生が各企業のチームに入って一緒にプレー、応援する形で交流を深めた。参加企業は、（株）ビジネスプラス、（株）富士電機フロンティア、ゆうせいチャレンジド（株）、東電ハミングワーク（株）、オリンパスサポートメイト（株）、（株）キューピーあい、コニカミノルタウイズユー（株）の7社。それに、東京都立青鳥特別支援学校高等部が加わり、計8チームが出場した。チアリーディング部が昼食時間に演舞を行って大会を盛り上げた。



2. 若手ジョブコーチリーダー奨学金

<事業計画>

誰もがいきいきと働ける社会を支える専門人材の育成支援を目的に、高等教育機関でジョブコーチを学び、障害者雇用及び就労支援の分野に進む学生に奨学金を支給する。令和7年3月にジョブコーチ養成課程を修了予定の者は8名。8名全員が社会福祉士又は精神保健福祉士の国家試験に合格することを想定し、8名×7万円=56万円の予算とする。又、高等教育機関でジョブコーチを学んだ人々に継続的に研修機会を提供すると共に、ネットワークを形成することを目的に交流研修会を開催する（10万円）。これらに関わる事務費5万円を予定する。

<実施報告>

大妻女子大学人間関係学部のジョブコーチ養成課程4年生8人全員が、社会福祉士又は精神保健福祉士の国家試験に合格し、且つ、職場適応援助者養成研修の課程を修了して本奨学金の要件を満たすことができた。8名のうち、5名が特例子会社に就職。2名が社会福祉法人や企業が行う就労支援関係機関に就職、1名が医療機関のデイケアで就労支援に携わるようになった。

以下に、学生からのコメントを紹介する。

高山 泉 NRI みらい株式会社～野村総合研究所特例子会社に就職

<ジョブコーチを取得して>

社会福祉士、職場適応援助者養成課程を履修して、非常に恵まれた環境で勉学に励むことができたと感じています。大妻女子大学ならではの実践的な演習やフィールドワーク、ボランティアへの参加を通して、幅広い学びを得ることができました。特にTボール大会や、ゼミで実施した就労支援事業所と連携したパン販売の活動は、現場の声を聞くことや障害を持つ方とより深く関われる機会となり、活動を楽しみながら多くの学びを得ることができました。貴重な経験の機会を与えてくださった先生方にはとても感謝しております。4年間を通じて、信頼できる先生や、共に励まし合い切磋琢磨できる仲間にも出会えることができ、充実した日々を過ごせました。大妻女子大学で学ぶことができて良かったと思っています。

<東京ロータリークラブの皆様へ>

この度は、私たちのために助成金をご提供くださり、誠にありがとうございます。職場適応援助者研修や社会福祉士国家試験の取得を目指して勉強に励む上で、奨学金を給付していただけることは大きなモチベーションになっておりました。また、東京ロータリークラブの皆様には、Tボール大会をはじめ在学中も多くのご支援をいただきましたこと、心より感謝しております。これからも、職場適応援助者として責任を持ち、信頼できる人となって障害者の就労支援に携われるよう精進してまいります。ありがとうございました。

鈴木 月菜 みずほビジネス・チャレンジド株式会社～みずほファイナンシャルグループ特例子会社に就職

<ジョブコーチを取得して>

ジョブコーチを目指して実習や国家試験などを乗り越え、無事に資格取得が出来て嬉しく思います。授業の課題や試験などに追われる忙しい大学生活になりましたが、一緒に勉強する仲間を得られたことは欠けがいのない宝物になりました。大学在学中に資格取得を目指すのは、同じ業界を志す同年代の仲間を作りやすい環境であり、自身のモチベーション維持にも繋がりました。大学では座学を通じて基礎

的な知識を学び、実習では現場の支援員の方から、より実践的な知識を学ぶことが出来ました。大学生という人生の中で比較的自由に時間を使える時に熱中できる分野の勉強に励め、先生方からご指導いただけたのは良い学びの機会になりました。周囲への感謝の気持ちを忘れず、努力を続けて参りたいと思います。

<東京ロータリークラブの皆様へ>

この度は学生の職場適応援助者資格取得者への奨学金制度を設けてくださり、誠にありがとうございます。障害者雇用や就労支援の専門職を目指す若い人材の育成に向け、このような支援をいただけると伺った時には、とても嬉しく思いました。ご期待に添えられるよう精一杯努力し、誰もがいきいきと働く社会の実現に貢献していきたいと思えます。自身の目指すジョブコーチ像を大切にしながら、職場適応援助者という職種に努めて参ります。よろしくお願いいたします。



畠松 杏美 株式会社キューピーあい～キューピー株式会社特例子会社に就職

<ジョブコーチを取得して>

社会福祉士とジョブコーチを取得できた今は、ほっとした気持ちが大きいです。大学の4年間、自分に言い聞かせる意味も含めて、「絶対国家試験を合格して卒業する」と両親に話していました。そうしたい思いをもって4年間努力していたこともあったため、余計に落ちたくなかったです。受験した日は正直なところあまり出来た気がしていなくて、自己採点をする勇気もなく1カ月間ほんとに生きた心地がありませんでした。合格一覧に自分の番号があった時は腰が抜けて床に座りこんでいました。今では社会福祉士とジョブコーチを学んでよかったと思います。今まで生きていた中で、自分にはない視点や考え方を身につけることが出来たからです。しかし、合格したからといって終わりではなく、これからも経験値を増やしていき学んでいきたいと考えております。

<東京ロータリークラブの皆様へ>

東京ロータリークラブの皆様。この度は、奨学金の制度を設けてくださりありがとうございます。自分はこの奨学金も国家試験合格の大きなモチベーションになっていました。合格したら自分へ投資することと、両親へ恩返ししたい気持ちがあったからです。しかし、合格したから良いという訳ではなく、新社会人として、そして支援者として、自分の中の目標である、「世間の人たちが障がいのある方についての偏見をなくし、双方が働きやすい環境を作るため」にこれからも日々精進していきたいと思えます。



芳賀 日向子 医療法人社団薫風会に就職(デイケアスタッフとして就労支援を担当)

<ジョブコーチを取得して>

高校生の頃には、大学にも入れないと思っていた私が、大妻女子大学に入学し、精神保健福祉士とジョブコーチの資格を目指し勉強し、沢山の悩むこともありましたが無事に精神保健福祉士とジョブコーチの2つの資格を取って卒業することが出来たことに驚くと共に、素直に嬉しく感じています。この2つの資格取得は、支えてくれた家族や友人はもちろんのこと、実習をさせて頂いた病院や施設、特例子会社の皆様の暖かいご指導や、小川先生をはじめとする先生方の時に優しく、時に厳しいご指導があったからだと思っております。本当にありがとうございました。私は4月から医療法人社団薫風会の地域活動支援センターで精神保健福祉士として働かせて頂くことになりました。まだまだ分からないことがだらけでとても不安ですが、大妻女子大学で学んだことを生かし、精一杯頑張りたいと思います。

<東京ロータリークラブの皆様へ>

東京ロータリークラブの皆様のご支援のおかげで、Tボール大会を初めとするイベントを開催することや、ジョブコーチの資格取得のための勉強を行うことが出来ました。誠にありがとうございました。4月からは精神保健福祉士として働きますが、ジョブコーチとしてよりよい支援ができるよう、今後とも精進して参ります。引き続き本学を初めとするジョブコーチ養成へのご支援のほどよろしくをお願いします。



野島 光 株式会社コッポルトに就職(就労移行支援事業の担当)

<ジョブコーチを取得して>

社会福祉士実習では障害者が地域の中で生活することについて、ジョブコーチの実習では障害者が企業で働くことについて改めて考える機会になりました。社会福祉士の勉強だけでは福祉的な視点に囚われがちな状態でしたが、ジョブコーチを目指して職場適応援助者研修を受けたことで、さらなる視点の広がりができました。また利用者の方にどのような支援を行いたいのかを考えた際に、実習で学んだ福祉的な視点と企業的な視点の違いから、自分が理想とする支援の在り方の考えの軸ができた実感しています。ただ支援を行うのではなく、どうしたら自立した生活を送ることができるのかを障害者の方と一緒に考え、行動に移していくことが重要であるという学びを大切にしながら、障害を持つ方々の支援に携わっていきたいと考えています。

<東京ロータリークラブの皆様へ>

障害者の就労支援であるジョブコーチの育成へ注目頂きましたこと感謝申し上げます。職場適応援助者研修を受けた者として、共生社会の実現に少しでも貢献できるように努めていきたいと思っております。最後にはなりますが、今回東京ロータリークラブ様にご支援頂いたこと大変光栄に思います。今後の東京ロータリークラブ様のご活躍並びにご発展をお祈り申し上げます。

渥美 杏 CTC ひなり株式会社～伊藤忠テクノソリューションズ特例子会社に就職
<ジョブコーチを取得して>

私は在学中に社会福祉士とジョブコーチの資格を取得しました。資格を持つことで職種の幅が広がり、様々な将来像を描くことが出来ました。しかし、それ以前に資格を取るための実習や勉強の経験がジョブコーチとして働く上でとても重要だと感じます。特に今回の社会福祉士国家試験は事例問題が多く、臨機応変に適切な対応をとることが求められていたと感じました。実際に現場に出て求められる対応はスピーディかつ適切な対応だと考えます。そのため、在学中に様々な事例検討やロールプレイをした経験を対応力として発揮していきたいと思います。社会福祉士とジョブコーチの資格は、大学4年間の知識と経験を出しきった結果です。ここで終わらせず、長期間培ってきた知識を活かすために、4月からの新生活により力がはいった気持ちです。すぐに資格を活かせる自信はありませんが、自分なりに尽くしていきたいと思います。



<東京ロータリークラブの皆様へ>

この度は若手ジョブコーチリーダー奨学金のご支援をいただき、誠にありがとうございます。奨学金のおかげでジョブコーチ養成課程を受けることのハードルが下がり、より力を入れてジョブコーチの知識を培うことが出来ました。また、「働く障害者のTボール交流大会」でボランティアと運営をさせていただきました。学生のうちから企業で働いている障害のある方々や企業在籍型ジョブコーチの支援者の方々と交流する機会を持ち、よりジョブコーチ支援について明確に捉えることができました。最後になりましたが、ご支援いただいた東京ロータリークラブの皆様にご心よりお礼申し上げます。

森田 美羽 社会福祉法人みずき福祉会に就職
<ジョブコーチを取得して>

大学で社会福祉士とジョブコーチの両資格の取得を目指して勉学に励んだことで、多様な価値観に触れることができました。ジョブコーチに関する講義を履修したことで、様々な角度から本人を見ることの大切さや、チーム支援の重要性を学びました。さらにジョブコーチ専門実習を行ったことで企業が実際に提供している合理的配慮について知りました。働く社員の障害に配慮された設備の体験や、企業が実施するバリアフリー研修に参加ことができ、大学の座学のみでは得られない経験を得ることができました。また両資格を取得したことで今後のキャリアの選択肢を広げることができました。これから社会人としての生活が始まります。大学の4年間で培った知識と専門職としての責任感を胸に、相手の人生を尊重しながら日々の業務に励んでいきたいと思います。



<東京ロータリークラブの皆様へ>

この度は、このような貴重な機会をいただきありがとうございます。実習ではスーパーバイザーの方々や障害のある社員の皆さまから多くのことを学ばせていただきました。学生時代に学んだことを活かしながらこれまでに関わった方々への感謝を忘れずに、職務という形で周囲の方々へ少しずつ恩返しをしていきたいと思っています。最後になりますが、この度はご支援いただきますこと、心よりお礼申し上げます。

原田 こはる トーマツチャレンジド株式会社に就職 <ジョブコーチを取得して>

精神保健福祉士とジョブコーチの資格を取得することができましたが、まだそれを活かす場面がないため、正直なところ実感が湧いていません。勉強嫌いだっただ自分が4年間を通して資格を取得するまでに成長することができたことを誇らしく思うと共に、資格保有者として、少しでも早く今の職場で適切な支援が行えるようにならなければと意気込んでいます。業務を取得していく中で、予期していなかった壁に直面することもあるかとは思いますが、大学生活の中で身に付いた自信を糧に、焦らず前向きに努力していきたいと思っています。また、資格を取るにあたって支えてくださった家族や先生方、友人たちへの恩を忘れず、真剣に自分の仕事を全うすることで返していきたいと思っています。



<東京ロータリークラブの皆様へ>

東京ロータリークラブの皆さまには、Tボール大会や奨学金等、様々な場面でご支援いただきました。誠にありがとうございました。私は4月からある特例子会社でジョブコーチとして働いています。ご支援くださった皆様の期待に応えられるよう精一杯努力し、会社にも社会にも貢献できるようになりたいと思っています。より多くの障害者が適切な支援を受けながら安定した就労ができるよう、今後ともジョブコーチ養成へのご支援をよろしくお願いいたします。

3. ジョブコーチ同士の学びと交流の支援

<事業計画>

特例子会社等の企業に所属するジョブコーチの専門性向上と相互研鑽、及び交流機会の提供を目的に、企業内ジョブコーチ交流セミナーを3回開催する（令和6年10月、令和7年1月、令和7年5月）。各回につき、対面参加50人程度、オンライン参加100人程度を予定する。

<実施報告>

以下の様に計3回の企業内ジョブコーチ交流セミナーを開催した。

第4回：テーマ「ASDの障害特性と過剰適応」

- ・ 日時：令和7年1月23日（木）14：00～17：30
- ・ 場所：大妻女子大学千代田キャンパス G棟
- ・ 講師：医療法人社団ながやまメンタルクリニック 千田若菜氏
株式会社ベネッセビジネスメイト 高梨佳子氏
- ・ 参加者：当日対面27名、オンライン参加59名、オンデマンド視聴259回
- ・ アンケート結果

参加形態	大変よかった	よかった	やや不満足	総計
会場	4			4
オンライン	30	14	1	45
総計	34	14	1	49

- ・ 最近、傷病欠勤に入った社員が、バーンアウトだったのかと思います。理解が深まりました。ありがとうございました。
- ・ 具体的な事例が出されており、とても分かりやすく納得できる事例であった。
- ・ 様々な企業で採用された方の一部の方に今回ご紹介頂いたような「症状(?)」があり、対応が必要になってきているようです。引き続き企業での対応方法や上長や関係者への知識のインプットにつながる資料や知見を発信して頂ければと思います。
- ・ 講義内にあったように、一般的な特性で考え対応するのではなく、対象者個人と職場・家庭環境を考慮にいれてアセスメントをしっかりと行いたい。
- ・ バーンアウトという言葉を知りました。当事者からのサイン発信に気づいていませんでした。ポジティブな発言の裏に隠されたバーンアウトの兆しに今後は気づくようにしたいです。
- ・ 過剰適応という言葉を知りました。弊社の社員も例外ではないと感じました。特に適応すること、はみ出ないようにするために仮面を被って生活している人は多くいると思います。ニコニコしているから大丈夫、ではなくストレスによるSOSを見逃さないようにする必要があると強く認識しました。



第 5 回：テーマ「障害者就労支援士」の流れ

- ・ 日時：令和 7 年 3 月 20 日（木）14：00～17：30
- ・ 場所：大妻女子大学千代田キャンパス G 棟
- ・ 講師：厚生労働省職業安定局障害者雇用対策課地域就労支援室長 安蒜孝至氏
大妻女子大学、NPO 法人ジョブコーチ・ネットワーク 小川浩氏
- ・ 参加者：会場参加 27 名、オンライン参加 57 名、オンデマンド視聴 88 回
- ・ アンケート結果

参加形態	大変よかった	よかった	やや不満足	総計
会場	4	1		5
オンライン	15	31	2	48
総計	19	14	1	53

- ・ 今回お話いただいた範囲の内容をふまえて、企業内で職場上司からこう聞かれたらどのように回答できるのか？を考えておりました。①「職場適応援助者と就労支援士は何か違うのか？」、②「今まで職場適応援助者から現場が受けていた支援と、就労支援士が現場で可能になる支援は違うのか？」、会場の質問者の方も触れておられましたが、決裁権を持つ上司、障がい者当事者のマネジメント責任者である人から見て魅力度の高い内容、資格であることも一つ大切な要素であると考えております。
- ・ 基礎的研修→養成研修→上級ジョブコーチの流れは、良いと思いました。それに絡ませて、支援士があることもわかりやすい制度だと思います。多様な目的に対応していると感じました。
- ・ ジョブコーチとは違う資格で学科試験があるということで志が高い人は勉強すると思うが会社に言われて受講していた人はジョブコーチで止まる懸念があるかもしれないと感じました。福祉事業所などでは功算などで受験者が増えるかもしれませんが企業にも助成金要件になにかプラスがあると良いかもしれません。
- ・ 個人的には社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士を数年ごとに受験したことにより、法律改正や動向などを学

びなおすことができたことは良かったと思っているので、自学以外の学び直しの機会が増えることは楽しみに
思っています。

- ・ 非常に貴重なお話を聞いて良かったです。現場でも指導者側の能力不足を実感することが多々あるため、新たな研
修が増加することは大歓迎です。また、訪問型ジョブコーチの地位向上は急務だと考えています。企業側からの
ジョブコーチへの(一部)偏見がある事も承知しております。その為、ジョブコーチとして活動する事を敬遠して
いる方が多いのではと考えます。国家資格化によりその当たりが向上することを期待しています。
- ・ 作業療法養成校で、職業リハビリテーションの今後の方向性を講義する内容に盛り込みたいと考えています。あ
りがとうございました。



第 6 回”障害のある大学生のマッチング“をキーワードに企業と大学で相互理解

日時：令和 7 年 5 月 21 日（水）14：00～17：30

場所：AP 市ヶ谷 6 階 C ルーム

講師：株式会社エンカレッジ 小川健氏

MS&AD アビリティワークス株式会社 遠藤貴子氏

TOTO 株式会社 藤田浩史

成蹊大学 浅香啓氏

参加者：会場参加 79 名

アンケート結果

参加形態	大変よかった	よかった	やや不満足	総計
会場	41	8		49

- ・ これだけ多数の障がい者雇用をされている企業の方と接する機会はないため、大変貴重な場とな
りました。職業準備性を企業側が重視していることを改めて実感できたこと、また支援機関を使
っていない新卒学生の採用はほとんど行ってこなかったことなど、ホームページ等では得られない
情報を聞くことができ、これまでの支援でなかなかうまくいかなかった理由が納得できました。

大学現場ではどうしてもマジョリティの学生の就活支援の傍らで障がい学生支援に当たる現状のため、限られたリソースで歯がゆい思いをするケースが多いです。このような場で勉強させていただいたり、企業や他大学と情報交換させていただけることは大変有意義でした。ありがとうございました。

- ・ 大学における障害学生の現状や縦割り組織であることなど理解を深めることが出来ました。また、他企業の取り組みについても知ることができ、大変参考になりました。尚、東京ロータリークラブ様のサポートのお陰で他企業と知り合える機会をいただきまして感謝申し上げます。
- ・ 大学関係者と企業を繋げて頂ける機会がなかったため、大変有意義な機会でした。東京ロータリークラブ様をご支援されているのをお聞きし、過去、ロータリークラブに所属していた者としては大変嬉しく、感謝申し上げたいと思います。ありがとうございます。
- ・ セミナーにお声がけ頂きありがとうございました。大学・企業のリアルな話、実態が聞けてとても参考になりました。今後障がい学生の数が増えていくことが想定されますので、双方の組織体制がより良くなっていけるよう努めていきたいと思いました。
- ・ 障がいのある学生が、就職活動において企業選びや職場環境に対して重視している点や、最近の傾向について、大学の先生方からの視点も交えてご紹介いただきたいです。学生が就職先を選ぶ際にどのような情報やサポートを求めているか、また企業に対してそのような期待や要望があるのかを知ることで、より効果的なマッチングや受入れ体制の整備に役立てたいと考えております。
- ・ セミナー内でご紹介いただいた、企業や大学での実践のご報告は大変参考になりました。障害のある大学生の支援については、全国の大学の支援者が対応に苦慮している事象かと思います。そんな中、企業の皆様と大学の支援者の双方向で関わる大きなきっかけを作っていただき、具体的な支援の検討を模索できる材料を沢山いただくことができました。東京ロータリークラブ様とジョブコーチ・ネットワーク様を始め、運営をしていただいた皆様には心よりお礼申し上げます。
- ・ TOTO 藤田さまの攻めたポジション採用に感銘を受けた。会社として目指す姿や取り組む意義を可視化し、もっと社内に発信すべきと弊社の課題が見えた。「学生の皆さまへ伝えていること」が1企業で働くという目線ではなく、その方の社会人として、大人として生きていく上で強さを与えてくれる言葉であり、私なりの伝え方を工夫したいと思えた。
- ・ 成蹊大学浅香さまのお話で、全く見えていなかった学内体制というのを知ることができた。大学での支援資源も限られており、企業とエンカレッジさまのような間をつないでくれる存在と共に、在学中より就労準備性を高める取り組みができないか、考えていきたいと思いました。・東京ロータリークラブさまのご支援に心より感謝申し上げます。ポジティブな障がい者雇用を広げることで、恩返しをしたいと思います。
- ・ セミナーにお声がけ頂きありがとうございました。大学・企業のリアルな話、実態が聞けてとても参考になりました。今後障がい学生の数が増えていくことが想定されますので、双方の組織体制がより良くなっていけるよう努めていきたいと思いました。
- ・ 障がいのある学生が、就職活動において企業選びや職場環境に対して重視している点や、最近の傾向について、大学の先生方からの視点も交えてご紹介いただきたいです。学生が就職先を選ぶ際にどのような情報やサポートを求めているか、また企業に対してそのような期待や要望があるのかを知ることで、より効果的なマッチングや受入れ体制の整備に役立てたいと考えております。



企業内ジョブコーチ交流セミナー参加企業名

※ 第1回～第6回 までの一覧（Online 参加を含む） 尚、令和6年度事業は第4回～第6回

みずほビジネス・チャレンジド（株）

株式会社NTT西日本ルセント

東京グリーンシステムズ株式会社

株式会社早稲田大学ポラリス

FWD 生命保険株式会社

ライフサポートここはうす

株式会社ベネッセビジネスメイト

東京都ビジネスサービス株式会社

株式会社テス

第一生命チャレンジド株式会社

KEIPE 株式会社

アンダンテ

トヨタモビリティパーツ株式会社滋賀支社

株式会社エス・エム・エス

アフラック・ハートフル・サービス株式会社

中外製薬ビジネスソリューション

あずさオフィスメイト株式会社

NTT クラルティ株式会社

げんねんワークサポート株式会社

住友生命保険相互会社

バンダイナムコウィル

株式会社デンコードー

オリエンタルモーター株式会社

NEC フレンドリースタフ株式会社

綿半パートナーズ株式会社

NRI みらい株式会社

ボッシュ株式会社

戸田建設株式会社

ダイオーエコワーク東海株式会社

ジャパニマス株式会社

株式会社ジェイコムハート

株式会社NTTデータだいち

株式会社かんでんエルハート

阪急電鉄株式会社

矢崎ビジネスサポート株式会社

日野自動車株式会社

日立ハイテクサポート

TOTO株式会社

あずさオフィスメイト株式会社

株式会社ヤマハアイワークス

株式会社関ヶ原製作所

株式会社インテージ・アソシエイツ

株式会社キャタラー

ハミューレ株式会社

トヨタ自動車株式会社 touk

株式会社リクルートオフィスサポート

株式会社エランクルール

株式会社マルイキットセンター

サラヤ株式会社

コクヨKハート（株）

株式会社住化パートナーズ

株式会社安川電機

ブラザーリビングサービス株式会社

山陰合同銀行

東京グリーンシステムズ株式会社

霧島グリーンビレッジ株式会社

株式会社シンシアリー

パナソニックハートファームアソシエイツ(株)

日本パーソネルセンター株式会社

（株）メニコネク

あなぶきパートナー(株)

ダイオーエコワーク東海株式会社

ジャパニマス株式会社

ブラザーリビングサービス(株)

株式会社NTTデータだいち

阪急電鉄株式会社

矢崎ビジネスサポート株式会社

三菱自動車ウイング株式会社

株式会社キャタラー

ハミューレ株式会社

株式会社リクルートオフィスサポート

多摩エレクトロニクス株式会社

株式会社エランクルール
株式会社マルイキットセンター
サラヤ株式会社
株式会社ダブルコーポレーション
京セラ株式会社
中外製薬ビジネスソリューション株式会社
株式会社シンフォニア東武
花椿ファクトリー株式会社
(株)東京ドームウィズ
クボタインクルージョンワークス株式会社
株式会社キューピーあい
はーとふる川内株式会社
CTC ひなり株式会社
住商ウェルサポート
株式会社住化パートナーズ
株式会社エス・エム・エス
(株)ジェイアール東海ウェル
SOMPO チャレンジド株式会社
株式会社ブリヂストン
株式会社わらべやハートフル
株式会社 NSG ソシアルサポート
N T T 西日本ルセント
テーブルマーク 株式会社
花王ピオニー株式会社
株式会社アヴァンティスタッフ
ロート製薬株式会社
阪急電鉄株式会社
株式会社サザビーリーグ HR
マツダ株式会社
川崎重工業株式会社
株式会社ニチレイアウラ
はーとふる川内株式会社
MS&AD アビリティワークス株式会社
(株)東海化成
ローランド株式会社
王子マネジメントオフィス株式会社
株式会社レオパレス・スマイル
SCSK サービスウェア株式会社

株式会社 ジェイコムハート
堀江車輛電装株式会社
ヤンマーシンバイオシス株式会社
MS&AD アビリティワークス株式会社
オリンパスサポートメイト株式会社
株式会社カプコン
ダイヤリックス(株)
株式会社 東光高岳
メルコテンダーメイツ株式会社
東日本旅客鉄道株式会社
明治安田ビジネスプラス株式会社
コニカミノルタウイズユー株式会社
住商ウェルサポート株式会社
株式会社キャタラー
三菱自動車ウイング株式会社
アクセンチュア株式会社
双日シェアードサービス株式会社
株式会社 Psychoro
株式会社ゼンショーストアサポート
不二製油グループ本社 (株)
セルム
トーマツチャレンジド株式会社
松田産業 (株)
東京海上ビジネスサポート株式会社
住友精化 (株)
ぜんち共済株式会社
日野ハーモニー株式会社
株式会社舞浜コーポレーション
明治ホールディングス株式会社
株式会社メンバーズ
メルコテンダーメイツ株式会社
あずさオフィスメイト株式会社
セガサミービジネスサポート株式会社
日本新薬株式会社
ダイヤリックス株式会社
リョービ株式会社
住友ゴム工業株式会社
東電ハミングワーク株式会社

株式会社サクセス
株式会社 住化パートナーズ
株式会社ゲオビジネスサポート
SMBC グリーンサービス株式会社
株式会社ユニスマイル
株式会社かんでんエルハート
株式会社 Best smile
株式会社中電工
株式会社ファーマシィ

ケアサポート株式会社
(株)かんでんエルハート
株式会社島津製作所
シダックスオフィスパートナー(株)
ハウス食品グループ本社株式会社
中電ウイング株式会社
住重ウィル株式会社
株式会社ダイキンサンライズ摂津
ヤンマーシンビオシス株式会社

4. アジアのジョブコーチ交流事業

<事業計画>

タイ、モンゴル等の障害者雇用企業、就労支援機関等に所属するスタッフを対象に、日本に招聘して、概ね 2 週間程度、障害者雇用・就労支援現場での実地研修を行うことを通して、それらの国々のリーダーを育成すると共に、日本のジョブコーチとの交流、相互研鑽を行う。

<実施報告>

昨年度に引き続き、本年度もモンゴルより、アマルジャルガルさん、バトツェツェグさん、2 名を招聘し、約 2 週間に渡り、日本国内での研修を実施した。研修では、就労支援の現状把握、障害者雇用に取り組む企業の視察、日本の障害者雇用制度についての講義の受講、並びに現場の実務者同士の意見交換等を行った。2 名は JICA の事業を通して我が国でジョブコーチ養成研修を受講し、現在はモンゴルにおけるジョブコーチ養成研修のトレーナーの役割を持っている。しかし、ジョブコーチとしての実務経験が十分ではないため、今回の訪日により、多彩な実践場面に触れることにより、実際の支援に関するイメージを持つことが出来た。今回のお二人の経験は、今後のモンゴルにおけるジョブコーチの実践及び研修の発展に大いに資することができると思う。



	午前スケジュール	午後スケジュール
3月3日(月)		14:30～ ・来日／成田空港→浦和駅前 18:00～ ・浦和ワシントンホテル チェックイン
3月4日(火)	10:00～12:00 ・研修日程等ガイダンス／法人浦和事業所	13:30～16:30 ・相談アセスメント支援の視察／法人久喜事業所
3月5日(水)	10:00～11:00 ・視察前ガイダンス／法人浦和事業所	13:00～14:30 ・日進職業センター見学 15:00～17:00・埼玉県障害者雇用総合サポートセンター
3月6日(木)	10:00～11:00 ・視察前ガイダンス／法人浦和事業所	13:30～16:30 ・障害福祉事業所(B型)の視察／ウォームサポートシオン
3月7日(金)	終日休日	
3月8日(土)	・CEF2025への出席／大妻女子大学千代田キャンパス 11:45～12:30CEF2025「モンゴル実践レポート」への出席 12:30～現地にて昼食 以降自由行動*	
3月10日(月)	10:00～11:00 ・視察前ガイダンス／法人浦和事業所	13:00～17:00 ・埼玉県障がい者就労支援ネットワーク促進セミナー 「モンゴルでの実践活動レポート」
3月11日(火)	10:00～11:00 ・視察前ガイダンス／法人浦和事業所	11:00～12:00 ・障害福祉事業所(B型)／ななさと事業所 14:00～15:30 ・障害福祉事業所(移行・定着・自立)の視察
3月12日(水)	10:30～13:30 ・東京ロータリークラブ例会参加	14:00～17:00 ・大妻女子大学 障害者雇用制度・質疑
3月13日(木)	10:00～12:00 ・JICA表敬訪問	13:30～17:00 ・社会福祉法人横浜やまびこの里 就労移行支援事業所ワークアシスト見学
3月14日(金)	9:30～12:00 ・サンキューウイズ見学	12:00～13:00 東京ロータリークラブ 13:00～15:00 SMBCグリーンサービス 15:30～17:00 研修のまとめ
3月15日(土)	帰国	

令和 6 年度
東京ロータリークラブ チャレンジ 110
みんないきいきプロジェクト
事業報告
NPO 法人ジョブコーチ・ネットワーク
2025 年 6 月 30 日